

ちょっとした工夫で魅力ある売場作り 店舗ディスプレイ



店舗ディスプレイというと、自分には出来ないと思われていませんか。お金がないから、時間がないからと後回しにされていませんか？実際にお店を持たれていない所でも、バザーなどで商品の陳列に苦労された経験があるでしょう。ここでは、ちょっとした工夫で出来るディスプレイのノウハウをお伝えします。それでもうまくいかない・・・と言う時は、兵庫セルプから作業技術アドバイザーを派遣いたしますので、お気軽にお声かけ下さい。

実例その1・広すぎる、狭すぎる

苦労してやっと手に入れた販売スペース、有効に使いたいものです。右上写真の例では、商品量の割に広すぎて閑散な印象だった販売スペースを、半分以下にぐっと凝縮し見た目のボリューム感をアップさせました。各棚にも種類毎・大きさ毎の分類(調味料、乾物、麺類、日用雑貨)を行いました。極端に大きさの違うものを横に並べない、大きさや色の順などで並べる、食品と洗剤などははっきり分ける、無用な隙間を空けないなどの方法をとれば、それだけで随分すっきりとした販売スペースになることと思います。



<作業アドバイスの実例>

実例その2・お金は掛けない

バザーなどは限られた時間の中で展開と撤収を行わなければなりません。また行ってみないとどんな場所か分からなかったりもします。右下写真の例では、事務用長机にテーブルクロスを掛けて柔らかい雰囲気を出し、スーパーでもらった段ボール箱にクロスやフラワーペーパーをかけたものをひな壇にして立体的なディスプレイをしています。クッキーも籐かごに入れて、種類毎の分類と共に、清潔感(食べ物をテーブルに直に置かない)と手作りのイメージを打ち出しています。



兵庫セルプ規格の 商品カタログ **今秋** 発行します！

兵庫セルプの今年度の事業計画の一つで、授産製作品の普及・啓発事業として授産施設・小規模作業所の商品カタログを作り、一般企業・団体へのPRを計画しています。当事業は、障害者の社会生活と就労の自立を授産活動を通じて促進するため、より広範囲に宣伝・普及をし、しごとの創出を目的としています。現在、全国のセルプ協議会およびセルプショップへの市場調査を行い、一般市場で売れる商品の基準を設けることも検討をしております。掲載の条件など詳細についての説明会を7月上旬に開催する予定です。皆様ご参加ください。